

1. 基幹公共交通軸の強化について

- ・平成24年3月に策定した「熊本市公共交通ランドデザイン」にて、「熊本市第2次都市マスタープラン」における中心市街地と15の地域拠点とを結ぶ8つの軸を「基幹公共交通軸」と位置づけ。
- ・基幹公共交通軸について、速達性(平均旅行速度)、定時性(遅れ時間)、快適性(輸送力:車内の状況)を強化することで、公共交通の高いサービスを提供し、移動における自家用車から公共交通への転換を促すことを目的。

2. 過去の基幹公共交通部会の開催状況

【平成25年度】

■ 第1回基幹公共交通部会

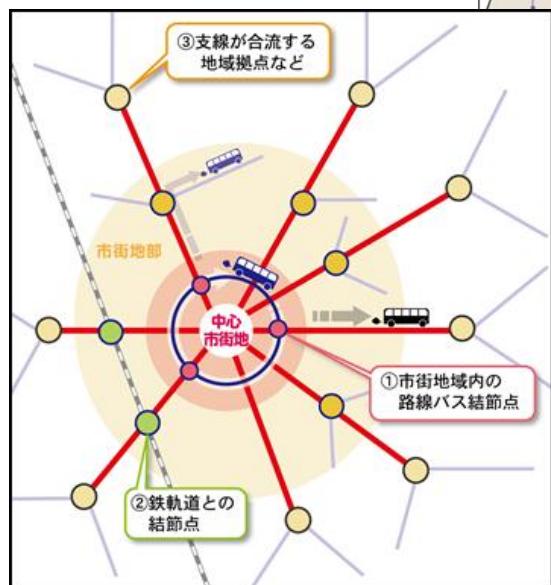
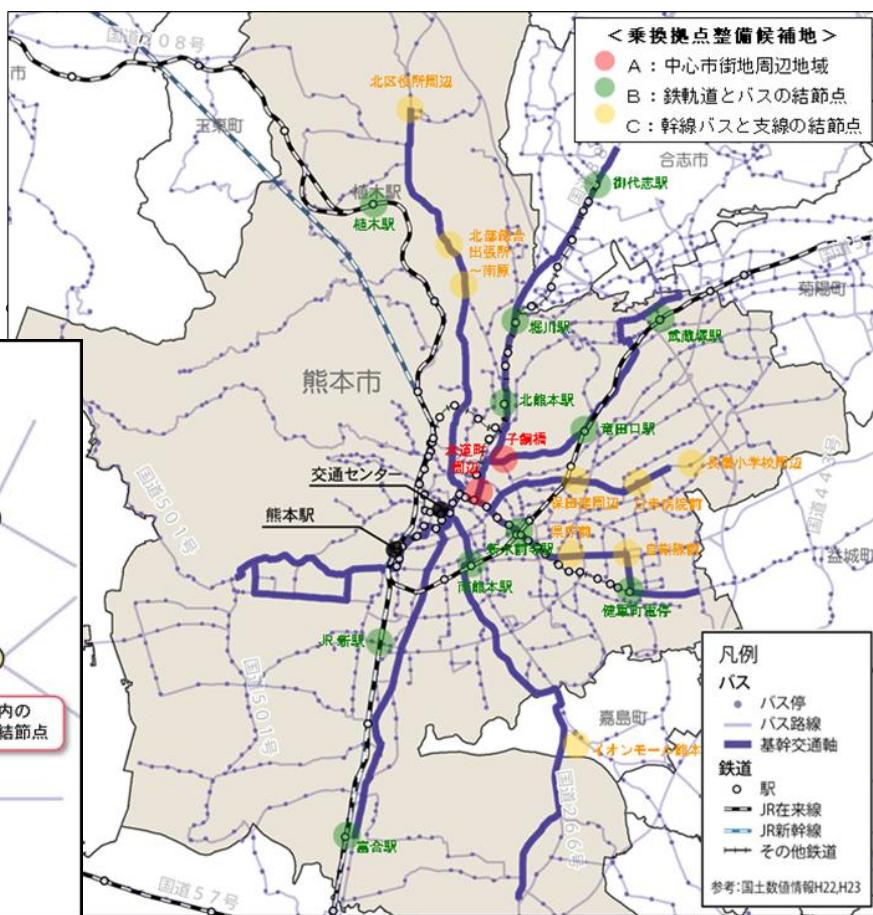
- ・日時:平成25年9月3日
- ・内容:基幹公共交通軸の機能強化に向けた問題抽出と検討、ターミナルのあり方など

■ 第2回基幹公共交通部会

- ・日時:平成26年2月18日
- ・内容:基幹公共交通軸の機能強化検討結果、急行バス社会実験結果など

3. 昨年度までの主な取組成果について

- ・公共交通ランドデザインの具現化として、基幹公共交通軸の機能強化策について検討(植木、合志、楠、長嶺、健軍、富合の6軸)。
- ・長嶺、健軍方面の具体的な対策案を検討。
- ・乗換拠点の整備候補地を抽出



- ・急行バスの社会実験の評価と課題の抽出。

・実施期間

H26.1.14から
H26.2.13まで
(平日のみ22日間)
朝ピーク時に9便
運行(10分間隔)

・パーク&ライドの拡大

(イオンモール熊本
駐車場、既存の
50台分+75台分
を追加)

・やさしいまちづくり レーンの設定

(急行バスの速達
性確保を目的と
して、走行車線
を設定。一般車
のドライバー
に迂回や車線
譲りなどの願
いを実施)



4. 今年度の取組予定

1. 基幹公共交通軸の強化に向けた取組

- (1) 基幹公共交通軸の機能強化対策の具体案について、交通事業者や交通管理者、運輸局などと協議・検討を進める。
- (2) 昨年度実施した城南方面の急行バス社会実験の結果を踏まえ、本格運用に向けて関係機関との協議・検討を進める。

2. 乗換拠点の整備にむけた取組

- (1) 乗換拠点について、整備優先度、整備内容、費用対効果などを検討する。

